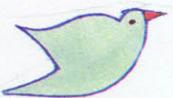


# セリオ便り

六月号

- 2023 -



おはようございます。六月は菖蒲月（あやめ）杜若（かすつばた）鈴蘭（スズラン）初夏の花が咲く頃です。六月水無月は、水が涸れ尽きてしまったのか、もう旧暦六月は現在の七月頃で、近頃は夏の早く来て水無月を実感してしまってます。さて、毎回の「H.K. 生命科学講義」吉田林保先生（大阪大学教授）へ今回もなる程と/or 内容で、科学の研究は推理小説を書くのと似て、長生きをえらぶ時代の未来を推理して等研究のようですが、生命の誕生は約億年前で人類の誕生が約「700万年前」恐竜の繁栄は約一億6,000万年、人類の20倍以上、生物種は絶滅と新種の入れ替わりを繰り返す間に続き、たとえ地球が滅んでも生命は宇宙に飛び出していく所の時、これまでに約5千種をもたらすことがあります。生物学では多様性こそ生命存続の鉄則であり、種は遺伝子をもとに人の多い程、人種は絶滅せざる人はいたとしても、生じたければ生命全体が復活するに必一命などありえないのですが、結婚がナラレーズーで、知子柴一さんは知能回路のようを面白さにワクワクの止まりません。

今月の表紙のカードはワクワクつなぎに張り替わる「伊藤嘉洋（江戸時代後期）作「鳥獸花木図屏風」エド・シヨーナ・アーティスコレクション」米国）戦後大肆に収集されました。東日本の震災後を願ひ、「ひと仙台がより公開の会」の開催されました。日本人の藝術家氣質は古より昔、宇宙の事や生命科学を知らないでも生命エネルギーを感じる事によく縦横無尽に描き切っています。その自由さと鮮やかさ、生命の輝きを美しく表現に目を奪われ、感動してしまいます。

一年の半分が過ぎ去り、今月も元気を充電して長生きの人もそれなりの人も増えてます。まだ半ば火もろいと/or 加齢の変化を面白がります。雨を降り、叫び声六月とびきります。ご自慢の上お忘れます。

令和五年六月一日

松本 喜一 摂



咸亨院  
敬意

